

No.10 放射線部

QI	一般X線画像 写損率の改善
分子	再撮影した画像数（一般撮影）
分母	総撮影数（一般撮影）
根拠	写損率は、技術の未熟さや描出部位の難易度を反映する。撮影の未熟さは、個人毎や年代別などで評価・分析を行い、部内ミーティングや依頼科との勉強会などを開催し、技術の向上を図る。
目標	写損率10%以下を目標とする。（※目標値変更）

